

2017年南ユタ大学短期留学プログラム 報告書

北海道教育大学札幌校 言語社会教育専攻 社会科教育分野 2年 原田 みゆき

私は8月28日から9月17日の約三週間南ユタ大学との交換留学プログラムに参加してきました。そこで私はこのプログラムに参加してよかったと思ったこと、もっと事前に準備しておけばよかったと思ったことなどを中心に書いていこうと思います。

1. 準備

最初に準備ですが私は過去三年の報告書を読んで半そでの上に羽織れるものを持ってきました。実際外はとても暑いのですが ESL 教室は空調がきいていたのであったほうが絶対にいいです。また外の日光がとても強いので日焼けが気になる人は UV カットのカーディガンがあるといいと思います。また乾燥がひどくのどを痛める人が多かったので薬や保湿系のものがあると便利です。

英語に関しては留学英語の本と英語で日本を紹介する本を買って持って行きました。日本文化の紹介はいくつか覚えておくと喜んでもらえると思います。また、自分のことや家族のこと(職業や学んでいること)を英語で言えるようにしておくといいと思います。私はホームステイ先でファミリーやファミリーの知り合いの人に「あなたの親は何をしている人なの」や「あなたはどこで働いているの」と聞かれたのですがとっさに出てこなくてあせりました。本当に困ったときは電子辞書やスマートフォンで調べることができますが、できるだけスムーズに会話したい人はある程度覚えておくといいと思います。

2. 大学生活

午前中は ESL クラスで英語の授業があり午後からはさまざまなアクティビティがある、といった感じでした。ESL クラスは教育大生みんなで受けるのでアットホームな雰囲気でも楽しかったです。札幌校からは2人しか参加者がいなかったのですがここで友達が増えました。もちろんですがすべて英語なので最初の一週間はぜんぜん何を言われているのかわからず大変でしたが、二週間目、三週間目になるとわからない単語は多いものなんとなく聞き取れるようになりました。

午後からは実際に南ユタ大学の授業に参加したり、学生にインタビューをするなど全体的にプレゼンテーションやインタビューなどスピーキングが中心でした。また現地の人とのディスカッションでは自分の意見を求められることが多かったです。多少英語が間違ってもうまく聞き取ってくれるので、思ったことは積極的に言っていくといいと思います。また日本の授業とは違い教授の発言に対して学生が積極的に手を上げ質問しており、能動的に授業に参加し意見をしっかり持つことが大切だと思いました。

またアメリカの国立公園であるブライスキャニオンにも行きました。思っていたより緩

やかだったように思います。景色はとても素晴らしかったです。



・マラソン大会

・ブライスキャニオンでの一枚

・現地のクラスでの交流

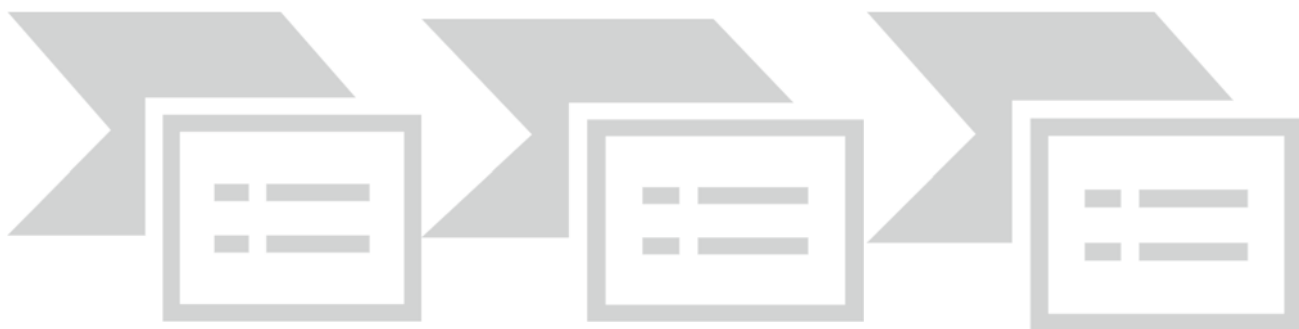
3.ホームステイ

私は函館校の人と二人でホームステイをさせていただきました。ホームステイ先は60代の夫婦とサウジアラビア人の留学生の三人家族でした。両親がとても忙しく平日はあまり家で会話ができなかったのがとても残念でしたが、家で好きなように映画を見させて頂いたり、休日はアメリカのパレードや買い物、映画館や教会に連れて行っていただきました。

また近所に曾祖母が住んでおり毎日挨拶にいきました。ここでは時期的にもミサイルが飛んできたということもあり政治的、軍事的な話をすることが多く、自分の語彙力のなさに落ち込むことも多かったです。日常会話だけではなく日本の政治や経済についても話せるようにしとけばよかったと思いました。

私のホストファミリーは敬虔なモルモン教徒だったためカフェインやアルコールは一切取らない家でした。場所的にもユタ州はモルモン教が多いのでお土産を持っていく際はカフェインが入っていないか注意したほうがいいと思います。

食事については私の家では朝食はシリアルやパンケーキ、昼食は自分たちでサンドイッチを作り学校に持っていき食べていました。昼食を持参していったこともあり生活費はあまりかからなかったです。夕飯はまちまちでしたが想像していたようなアメリカンな食事ではなかったです。また夕食は自分たちで用意することも多かったのでレトルト食品を持っていくと便利でした。



・休日のお出かけ

・ピクニック

・祝日のパレード

4.その他

アメリカの人はとても気さくなため目が合ったら微笑みかけてくれます。スーパーで出会った知らない人に声をかけられたりしたときは戸惑うことも多かったですが、慣れてくるととてもいい文化だなと思いました。

私はお土産のひとつに折り紙を持っていったのですが子供にとっても受けがよかったのでお勧めします。特に手裏剣と紙風船は幼児から小学生まで喜んでくれました。

5.最後に

私は海外の文化に憧れがある、現地を実際に見てみたいという理由でこのプログラムに参加しました。そのため英語が大してできるわけでもありませんでした。このプログラムに参加した最初の一週間も話すことに苦手意識がありあまり積極的に会話に参加することができませんでした。しかしホストファミリーや周りの学生の方々が間違った英語を話しても言い直してくれたり、わかるまで何回も聞きなおしてくれたりするうちに間違っても会話ができる楽しさを知ることができました。間違いを恐れずに会話を繰り返していったことでアメリカに行く前といった後ではかなり英語力が変わったような気がします。

またテレビや雑誌で見るよりも実際に自分でアメリカを見てみたことで自分の視野がとても広がりました。文化の違いを肌で感じることはとても重要だと思います。少しでも興味がある人はぜひ参加してみてください。

最後に留学を後押ししてくれた両親、サポートしてくれた国際課の方々、SUUの先生方、たくさん助けてくれた一緒に行った仲間感謝申し上げます。ありがとうございました。



・最後にマラッカ空港で

・帰り道のネバダ州で